

平成29年第15回大川市教育委員会（定例会）会議録

平成29年12月22日、大川市役所第1委員会室において、平成29年第15回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

1. 開会及び閉会に関する事項

開会 14時30分
閉会 16時00分

2. 出席委員の氏名

教育長 記伊 哲也
委員 貞苺 清
委員 谷川 朋昭
委員 蔵本美保子

3. 欠席委員

委員 一ノ瀬直子

4. 事務局等の出席者

学校教育課長	下川 慎司
学校教育課主幹	古賀美保理
生涯学習課長	永尾龍之介
学校教育課長補佐	本田 龍雄
生涯学習課長補佐	岡 辰磨
記録者・学校教育課総務係	永島 潤一

5. 傍聴者

5名

6. 付議案件

審議事項

- (1) 議案第29号 大川市学校安全の日を定める規則の制定について
- (2) 議案第30号 大川市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 議案第31号 大川市就学援助規則施行規程の一部を改正する規程の制定について
- (4) 議案第32号 平成30年度大川市一般会計予算要求額（教育費）について
- (5) 議案第33号 平成30年度大川市立小・中学校県費負担教職員の人事異動方針（案）について
- (6) 議案第34号 臨時代理の承認について

報告事項

- (1) 臨時職員等の任用について

行事予定（1月）

7. 教育長の挨拶の要旨

(1) 小学校教職員、大川市体育会長死去のお知らせ

(2) 12月議会一般質問について

「いじめ、不登校の現状」について、特にいじめにより不登校になったケースについての質問があり、本市では1名該当者がある旨を回答した。

2点目は「大川市の義務教育の特色」についての質問に対しては、「木の香プラン」の説明を行った。運営組織、運営の改革では英語、道徳の教科化に伴う充実、2つ目に教職員の研修改革で、ふるさと学習や英語力の向上についての取組み、3つ目に地域からの改革で、今年まで調査研究し、来年度からコミュニティスクールを進めていくこと説明した。本市の特別支援教育については、管内、県内においても非常に優れているという説明も行った。

3点目に「就学制度の仕組み」、4点目には「就学支援制度の拡大」についての質問があった。

5点目に「小中学校の洋式トイレの現状と今後の対応」について、現在小中学校のトイレは和式が中心で洋式は中学校20%程度、小学校は30%程度で、最近の子どもたちは和式トイレをほとんど使わないという質問であった。中学校はこれから改築を行うが、小学校は少しでも洋式トイレを増やしていただきたいという要望に対し、課題や実態に応じて予算措置を行い、洋式トイレを増やしていく考えを回答した。

(3) 道海島小学校がモデル校となり、フッ素洗口を始める。昨日説明会があり、県より20名ほどの参加者が見えられた。

(4) ミニバスケットボール福岡県大会の決勝戦で大川小学校と木室小学校が対戦した。両校とも来月の九州大会、3月の全国大会に出場することとなり、明日、大川小学校で壮行会が行われる。

8. 議事の概要

審議事項	(1) 議案第29号 大川市学校安全の日を定める規則の制定について
教育長	規則(案)に関する質問はないので、川口小学校の事故から1年間の感想など伺いたい。
委員	事故の日より今日まで、教育長が学校や教職員研修会、PTA等、様々な場面で言い続けられてきたことが、第1条の趣旨に込められている。1年近く経ち、教育委員会はもちろん学校やPTA、外部からの指導助言、多くの方々の協力のもとに進めてきたこと、二度と事故を起こさないという決意が「学校安全の日」という形となり、動き出そうとしていることを大変感慨深く感じている。教育委員、また市民の一人として、しっかり推進に努めたい。
委員	事実を風化させないため、教育長は度々研修会や会議の場で話された。事故よりまだ1年経っていない。まだ記憶の中にしっかり残っていると思うが、「学校安全の日」を定めることにより、この想いをもち続けることに大きな意味があると感じる。
委員	保護者としては、学校によって取組みの温度差があると感じている。保護者一人ひとりにしっかり周知されるようお願いしたい。
教育長	毎月、遺族宅を訪問しているが、風化させないことが第一であると考えている。

<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
審議事項	(2) 議案第30号 大川市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について
	質問・意見等なし
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
審議事項	(3) 議案第31号 大川市就学援助規則施行規程の一部を改正する規程の制定について
	質問・意見等なし
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
審議事項	(4) 議案第32号 平成30年度大川市一般会計予算要求額（教育費）について
委員	小学校管理運営費の小学校専科講師費2,500万円の内訳はどのようなものか。
事務局	平成32年度より始まる英語をはじめとした専門性の高い教科の講師費4名分である。県費負担教職員の給与に基づいた金額であり、一番高い俸給で計上している。
委員	小学校トイレ改修事業について、校舎と体育館も対象としているか。
事務局	今回の要求分は校舎内のみである。
委員	小中学校の体育館は、避難場所に指定されているので、児童生徒だけでなく、高齢者にも配慮した整備を考えていただきたい。
教育長	体育館・武道場に洋式トイレが設置されている小中学校は何校あるか。
事務局	大川小、宮前小、道海島小、田口小、大川東中、大川南中である。
教育長	設置は5割なので、これも課題である。
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
審議事項	(5) 議案第33号 平成30年度大川市立小・中学校県費負担教職員の人事異動方針（案）について
委員	教職員の再任用について説明をお願いしたい。
事務局	公務員制度においては60歳が定年であるが、年金支給が段階的に引き上げられ、現在65歳からの支給となっている。定年後に収入が減少するので、65歳

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>教育長</p>	<p>に達するまで再任用という形で雇用している。特に、中学校において再任用の教職員が勤務されている。</p> <p>授業力、生徒指導力が高く、学校経営に対する協力が十分な先生はこちらからお願ひしても残っていただきたいと思うが、そうではない先生も再任用の希望があれば、この制度に従って採用されるのか。</p> <p>基本的に成績が「不良」の教職員は採用できない。どちらかというと年金が支給されるまでの救済措置制度であるから、一定の成績で定年を迎えた教職員が再任用を希望する場合は、それを拒むことはできない。</p> <p>制度は納得できるが、この人事異動も含め、再任用・新規採用も含んだ新年度の学校経営が始まる。小規模学校でいうと、先生一人ひとりの役割や負担が大きくなる。そういったところで、みんなから望まれる先生ではない場合は厳しいものがある。制度上仕方ないのであれば、そこを補えるよう、教育委員会からしっかり学校に対する協力を求める独自のものができないか。学校からすれば、いい先生に残っていただきたいというのが本音である。一番に影響を受ける子どもたちのためにも考慮していただきたい。</p> <p>各校長からの聞き取りによると、中学校では普通教科はもとより部活動の指導、小学校に関しては是非とも再任用で来ていただきたいとの要望があった。教員が足りず、小学校では常勤講師も足りず、2名の欠員で、主幹教諭や校長・教頭が授業を行っており、中学校でも今後そのようになる。都市部の採用試験を受けるため、福岡県でなく福岡市のほうが多いという現状である。人事評価制度は、評価基準に基づくS～Dまでの5段階となっている。C以上であれば再任用雇用が可能であり、昨年度のD評価は0名である。</p>
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
<p>審議事項</p>	<p>(6) 議案第34号 臨時代理の承認について</p>
	<p>質問・意見等なし</p>
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
<p>報告事項</p>	<p>(1) 臨時職員等の任用について</p>
	<p>質問・意見等なし</p>
<p>行事予定 【1月】</p>	<p>学校教育課長、生涯学習課長より説明する。</p>

以上、会議の次第は、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

大川市教育委員会教育長

大川市教育委員会委員